

学校だより  
No.3 6月号

# 深谷

令和4年5月31日  
横浜市立深谷小学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya/>

## はきものをそろえる

副校長 宮崎 博隆

日差しがどんどんと強くなっているのを感じます。感染症予防に努めながらも、暑さによる体調の変化にも気を配りたいところです。保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただくとともに、子どもたちを温かく見守ってくださり、ありがとうございます。

私事ですが、4月1日から副校長として着任いたしました、宮崎博隆です。中区の大鳥小学校から異動してまいりました。深谷小学校で5校目の職場となりましたが、ここ数年はどの学校でも「新しい生活様式」を心掛け、様々な制約がある中での活動が続いておりました。始業式に校庭で全校の深谷っ子と出会って、今年度こそ存分に学び、活動できる一年になるといいなという思いを強くもちました。

### はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろう  
心がそろうと はきものもそろう  
ぬぐとくにそろえておくと  
はくときに心がみだれない  
だれかが みだしておいたら  
だまって そろえておいてあげよう  
そうすればきっと  
世界中の  
人の心もそろうでしょう

さて、職場は変わりましたが、私がこれまでと変わらずにやり続けていることを一つご紹介します。子どもたちが登校して教室に入ってから、昇降口の靴箱へ向かいます。一人ひとりにおはようの挨拶をする代わりに、靴に挨拶をしています。「今日もきれいにかかとをそろえて入れているな。」「今日はお休みかな。」とか、「この子はかかとを踏んで歩いているな。」「濡れているのは水たまりに入ったからかな。」などいろいろな想像しながら整えています。

私は靴をそろえることの大切さを左の『はきものをそろえる』という詩に出会って学びました。この詩は長野県円福寺の藤本幸邦<sup>こうほう</sup>住職という方の詩です。靴をそろえる価値をこの詩は教えてくれているように思います。

気持ちが急いでいると靴を脱いだらどうしても投げ入れるように靴箱に入れがちです。そんな時ちょっと立ち止まって靴をそろえることは自分の気持ちを整えることにつながるのだと思います。『だれかが みだしておいたら だまって そろえておいてあげよう』そう思う子が増えてくれば、靴箱は自然ときれいにそろうでしょうし、一人ひとりが意識して実践できると深谷小のみんなの「心もそろう」はずです。

50周年の記念すべき一年です。子どもたちも職員もみんなで「心をそろえて」一つひとつの行事を創り上げていきたいと思います。

